

ウェルビーイング領域における 地域共創フォーラム

限られた資源を可能性に変える：共創で生み出すウェルビーイングな地域

2025.3.10 MON

13:30～17:00 (オンライン配信/16:30まで)

申込期限：3.6 THU 18:00 (リアル/オンライン共通)

リアル・オンライン参加とも特設サイト内の応募フォームからお申し込みください。

【会場】

渋谷スクランブルスクエア15F
SHIBUYA QWS



申込ページ

参加費無料 (リアル&オンライン共通)

リアル参加(定員100名) / オンライン参加(定員なし)

PROGRAM

WaaS共創コンソーシアムについての概要説明

JR東日本イノベーション戦略本部

基調講演

「実り多い豊かな人生 私は創造的でありたい」

若宮 正子 (ITエバンジェリスト)

「NFTやブロックチェーンでつくる、ウェルビーイングな社会」

林 篤志 (Next Commons Lab ファウンダー)

地域の事例紹介

青森県弘前市/宮城県/長野県野沢温泉村

パネルディスカッション

モデレーター

田中 里沙 (学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 学長)

パネリスト

東浦 亮典 (株式会社東急総合研究所 代表取締役社長)

齊藤 智彦 (合作株式会社 代表取締役 鹿児島県大崎町 政策参与)

八木 毅 (株式会社DOSO 代表)

矢野 淳 (株式会社MARBLING 代表取締役)

安田 致敏 (JR東日本イノベーション戦略本部)

ネットワーキング (リアル会場のみ)

基調講演 講師



若宮 正子

ITエバンジェリスト

モデレーター



林 篤志

Next Commons Lab
ファウンダー



田中 里沙

事業構想大学院大学
学長



東浦 亮典

株式会社東急総合研究所
代表取締役社長



齊藤 智彦

合作株式会社 代表取締役
鹿児島県大崎町 政策参与



八木 毅

株式会社DOSO
代表



矢野 淳

株式会社MARBLING
代表取締役



ウェルビーイング領域における 地域共創フォーラム 2025.3.10 MON

登壇者プロフィール PROFILE



若宮 正子

ITエバンジェリスト

基調講演 講師

1935年4月19日生。高校卒業後、三菱銀行(現・三菱UFJ銀行)に定年まで勤務。58歳からパソコンを独学で習得。2017年ゲームアプリ「hinadan」を公開。これにより米国アップル社CEOよりWWDCに特別招待された。2017年より数々の政府主催会議の構成員を勤める。2018年国連社会開発委員会のイベントで講演。2020年国連人口基金のイベントで講演。

現在は、一般社団法人メロウ倶楽部理事、熱中小学校教諭、NPOブロードバンドスクール協会 理事、岸田首相主催・デジタル田園都市国家構想実現会議構成員、デジタル庁デジタル社会構想会議構成員他、政府委員を務めた。著書「やりたいことの見つけかた」「老いてこそデジタルを。」他。エクセルアートの創始者。



東浦 亮典

株式会社東急総合研究所
代表取締役社長

パネリスト

1961年東京生まれ。1985年、東京急行電鉄(現・東急)入社。自由が丘駅駅員、大井町線車掌研修を経て、都市開発部門に配属。その後一時、東急総合研究所に転向し、復職後は、商業施設開発やコンセプト賃貸住宅ブランドの立ち上げなど、新規事業開発を担当。開発事業本部 事業統括部 企画開発部 統括部長、都市創造本部 戦略事業部長、渋谷開発事業部長、沿線生活創造事業ユニット、フェューチャー・デザイン・ラボ管掌などを歴任。同社常務執行役員。2025年1月、株式会社東急総合研究所 代表取締役社長に就任。

【著書】

「私鉄3.0」ワニブックスPLUS新書

「東急百年 私鉄ビジネスモデルのゲームチェンジ」ワニブックス



林 篤志

Next Commons Lab
ファウンダー

基調講演 講師

Next Commons Labファウンダー。paramita代表。Crypto Village共同代表。自治体、企業、起業家など多様なセクターと協働し、新たな社会システムの構築を目指して活動。ポスト資本主義社会を具現化するための共同体OS「Local Coop」、デジタルアートの保有を通じて気候変動問題の解決に取り組む「SINRA」、過疎地におけるデジタル関係人口を創出する「Nishikigoi NFT」など、多様なプロジェクトを展開中。



齊藤 智彦

合作株式会社 代表取締役
鹿児島県大崎町 政策参与

パネリスト

中国北京の美術大学 中央美術学院にて彫刻を専攻。その後国内外で創造性と都市機能の関係をテーマに活動を展開。

2019年地域おこし企業人交流プログラム(総務省)にて、鹿児島県大崎町役場に出向。外部との連携により政策を推進する政策補佐監に就任。SDGs 未来都市モデル事業、総合計画策定支援等を担当。2020年7月大崎町に新たな事業会社として合作株式会社を設立。2021年4月大崎町・県内企業とともに「リサイクルの町から世界の未来をつくる町へ」をテーマにした大崎町SDGs推進協議会を設立・参画。協議会の専務理事(業務執行責任者)として、第一フェーズ3カ年の事業を牽引。



田中 里沙

事業構想大学院大学
学長

モデレーター

マーケティングの専門誌「宣伝会議」の編集長、取締役副社長を経て、2016年に地方創生と新規事業の研究と人材育成を行う、学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学学長に就任。新事業創出、地域ブランディング活動等を企画・研究する。環境省「クールビズ」ネーミング、東京2020エンブレム、サミットロゴマーク等の審査員を務めた。第53回ベストドレッサー賞(文化・学術部門)受賞。三重大学理事・副学長。



八木 毅

株式会社DOSO
代表

パネリスト

静岡県出身。グラフィックデザイナー。名古屋芸術大学芸術学部絵画科卒業後、フランスに留学。L'École Nationale Supérieure d'art de Dijon大学院卒業後帰国。東京でデザインの仕事に従事した後、2014年に山梨県富士吉田市に移住。地域活性事業を行う富士吉田みんなの貯金箱財団を経て、SARUYA HOSTEL、SARUYA Artisit Residency、FabCafe Fujiを運営。



矢野 淳

株式会社MARBLING
代表取締役

パネリスト

東京都出身。2011年に認定NPO法人ふくしま再生の会を立ち上げた父の影響で、高校生の頃から福島県飯館村に関わり続ける。2020年、東京藝術大学建築科卒業。現在は飯館村と東京の二拠点で活動し、2021年に合同会社MARBLINGを共同代表として設立、2024年には株式会社MARBLINGを設立。飯館村のホームセンター跡地に、村の人と共に飯館の資源を利用して作りあげた「図書館(ズットソーコ)」を企画運営・空間プロデュースしている。



WaaS Co-creation
Consortium